

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 6		作成日 30年 6月 26日				
事務事業名				保健福祉センター経費						
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち		課名	地域福祉課		係名			
		2-1 健康に暮らすまちをつくる		シート作成者						
	施策	2-1-1 自らの健康づくりの推進		予算費目	会計	一般				
					款	3				
主要施策	① 健康づくり意識の高揚と主体的活動の促進		項		1					
			目	3						
個別計画名										
住民との関わり				特になし						
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）							
	町民（施設利用者）		適切な維持管理及び運営を行ない、町民の健康福祉の増進及び文化的な生活向上を図る。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		保健福祉センター事業・・・施設の維持管理を行い、安心して利用できるよう長寿命化を推進していく。また、財政状況を考慮しながら、着実に必要な改修を進めていく。								
事業期間		昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 54年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし								
根拠法令・要綱等		東員町保健福祉センター条例及び施行規則								
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		0		90,338		13,450				
財源内訳	国庫支出金		0		0		0			
	県支出金		0		0		0			
	地方債		0		39,000		0			
	その他特定財源		0		781		900			
	一般財源		0		50,557		9,382			
直接事業費（千円）A		0		90,338		10,282				
人件費（千円）B		0		0		3,168				
内訳	一般職員（人・千円）		0.00 人 0		0.00 人 0		0.48 人 3,168			
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0			
成果指標	成果指標名		単位		29年度		30年度		31年度	
					目標		実績		（目標）	
	① 施設利用延べ人数		人		23,000		12,925		15,000	
	②									
③										
説明		自主的な健康づくりを支援する環境を整備し、利用者の拡大に努めるように目標値を定めた。								

事業名	保健福祉センター経費	シート作成課	地域福祉課
-----	------------	--------	-------

一次評価者	地域福祉課長	二次評価者	福祉部長
-------	--------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	健康福祉の増進及び文化的な生活向上を図るための必要な施設である。
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	総合文化センター及びふれあいセンター施設は利用目的を区分し使用を許可している。
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	施設の利用者も多く充実していますが、老朽化が目立っている。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	施設の老朽化対策を行いつつ、財政状況を見ながら長寿命化に向け改修を行う。

本事務事業の実施適切性の説明

健康福祉増進の拠点施設として多くの方に利用されていることと、施設の老朽化が進んでいることを鑑み、長寿命化を行いつつ、今後も時代に即した機能向上も図れるよう改修を行う。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
今後の改革・改善目標	平成30年度は、空調設備等改修工事の設計業務を行い、平成31年度には、庁舎と併せて工事を実施する予定である。今後も長寿命化等を図るための維持管理、改修工事を行う。また、長寿命化を図るうえでの個別施設計画の策定も併せて行う。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
コメント	施設を有効に利用できるよう利便性を図りつつ、長寿命化計画に基づいた改修を行う。また、公共施設等総合管理計画に準拠しながら、適正な運営及び維持管理に努める。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--